

○ 住民説明会における意見等（久津間住宅地区）

1. 日 時 令和元年6月16日（日）13時30分から14時45分まで
2. 場 所 岩根西公民館
3. 出席者 防衛省整備計画局、北関東防衛局ほか  
木更津市企画部
4. 参加者 11名
5. 防衛省から説明資料に沿って説明後、以下のとおり質疑応答。

※【○主な質問等】【●防衛省の説明】【※木更津市の説明】

1. 木更津駐屯地への暫定配備期間について

- 今年度末から木更津駐屯地へ暫定配備を行いたいとの説明であったが、暫定配備期間はどの程度なのか。例えば、佐賀空港が整うのが20年後であれば、20年間は木更津駐屯地に暫定配備を行う、という理解でよいのか。
- 陸自オスプレイについては、昨年8月、佐賀県知事から受入れ表明を頂き、現在、佐賀県と有明海漁協において、佐賀空港建設時に締結された公害防止協定で確認されている『県は佐賀空港を自衛隊と共用するような考えをもっていない』旨の考え方の取扱いについて協議がなされているところである。当該協議の進捗に応じて、施設整備に係る測量や基本検討等を行うことができれば、工期がおおむね判明すると思われるが、現時点で暫定配備期間をお示しすることは困難である。なお、佐賀空港が恒久配備先である考えに一切の変わりはなく、可能な限り早い段階で、佐賀空港にオスプレイを配備できるように努める。
- 防衛省としては、目標の期間も設定していないのか。
- 協議の進捗に応じ、おおむねの工期が判明したら、改めて報告させていただく。
- 具体的な暫定期間が示されず、とにかく配備したいとするスタンスはおかしい。私は、暫定配備に賛成でも反対でもないが、何か我々が納得できる説明があるかという点、そうではない。国としても大きな判断の中でやっていることで、それを否定することでもないが、全く納得はしていない。満場一致の賛成でなければならない、ということでもないのだと思っている。大きな流れの中で、やらなければならないことも多々あるのだろうと。ただ、時間が経って全てがうやむやにならないようにしてほしい。
- 御指摘を真摯に受け止め、木更津市においても、佐賀県においても誠意をもって対応させていただく。
- 一般人の感覚では、暫定と聞くと2、3年や、長くても5年と考えてしま

う人が多いのではないかとと思っている。例えば、佐賀空港に配備できるようになるまで最低でも10年くらいは要する等、本音で、ある程度の期間を示していただいた方が、住民も納得しやすいのではないか。

- 今回の説明会の場でお約束できる年数を示すことができないことは申し訳ない。施設整備に要する期間については、土質等の個別の土地の特性などによっても工期が大幅に変更し得るものであり、現時点で一概に期間を示すことが難しい。いずれにせよ、協議の進捗に応じ、おおむねの工期が判明したら、改めて報告させていただく。

## 2. オスプレイの安全性について

- オスプレイの事故について、人的ミスであり機体に問題があったわけではない、との説明である。建築現場でもいえることだが、事故が発生した場合、かなりの確率が人的ミスであると認識している。人的ミスを極限まで減らす努力をしているのか。
- 機体の安全性は確認されている。人的ミスを可能な限りまで減少させるため、教育訓練を実施しており、また、資格制度の検討等を行っている。

## 3. 生活環境への影響について

### 【騒音】

- オスプレイについて、ホバリング時と飛行時で騒音に差がでるのか。
- ホバリングは地表から近い所で行うので、騒音は大きいですが、通常の高さによる飛行時には、地表から離れていることから、騒音は小さくなるので差は出る。

### 【訓練内容】

- 木更津駐屯地において、朝霞駐屯地で実施している観閲式の訓練を実施しているが、オスプレイが配備された場合、オスプレイも観閲式に参加することになるのか。
- オスプレイはまだ配備されていないため、断定的にお答えすることは困難であるが、オスプレイが観閲式に参加することは、将来的には考えられる。
- 木更津駐屯地の運用時間は決まっているのか。また、オスプレイが暫定配備された場合、災害派遣等にもオスプレイは使用されることになるのか。
- 木更津駐屯地の運用時間は、平日8時30分から17時までを基本としているが、それ以外にも、夜間飛行訓練や災害派遣等の任務がある。暫定配備とはいえども、配備がなされれば、任務に使用することは考えられる。

## 4. 漁業への影響について

- オスプレイの騒音により、コハダ漁への影響はあるのか。

- 平成28年に行った米軍MV-22オスプレイの佐賀空港付近における飛行の際、佐賀空港南側場周経路付近で音を測定した。公刊情報を踏まえると、魚種によって、特にコハダ等の小型魚が、遠ざかる又は潜る、という音の大きさ、むしろ、興味があって寄ってくる音の大きさがあり、そのレベルからすると、遠ざかるようなレベルの音は測定されておらず、現時点で漁に影響があるものとは断定することは困難。佐賀県で、コハダの音に関する調査は、引き続き漁協からの要望に応じてやっているが、これまでの結果としては、影響を断定できないということとなっている。

#### 5. その他

- 今までの実績として、木更津駐屯地が急患輸送を行ったことはあるのか。また、オスプレイが暫定配備されれば、急患輸送を行うことは当然ある、という認識でよいか。
- 手元に資料がないことから確たることをお答えは困難であるが、木更津駐屯地にオスプレイが暫定配備された場合、オスプレイは通常のヘリコプターよりも速度、航続距離が優れていることから、通常のヘリコプターでは難しいと判断された場合、オスプレイが急患輸送を行うことは考えられる。

#### 【木更津市への質問・意見】

- 国のやることだから、ちゃんとやってから、話し合ってきて。お宅はまだ経験したことないと思うが、私は自衛隊を見てヘリコプターがくると肝が凍る。だから、漁師の方は難儀していると思う。その点考えてくれればいいと思う。市は話をしているか。
- ※ 今後、漁組関係者ともこのような説明会を設けさせていただく予定である。